



西尾いきものふれあいの里だより

1月号

2025.1.1 発行

さとやま

1月の里といきもの



今年は、暖かい秋から一転、12月には寒波が襲来、一気に真冬の気温になりました。長期予報ではこれから2月にかけては、ラニーニャ現象の影響で、寒気が強まりやすくなる見込みです。

気温が低くなると見られるのが霜や霜柱です。特に晴れた風の弱い夜は、放射冷却が起こりやすく、地表の温度が急激に下がるためできやすくなります。でも強風が吹くと地表の温度が均一になり、できにくくなります。空気中の水蒸気が直接氷の結晶として葉の表面に付着するのが霜、地中の水分が毛細管現象で地表に向かって吸い上げられ、それが柱状の結晶となって地面から垂直に伸び地表で凍ったものが霜柱です。特に霜柱は地面に水分が含まれていないと発生しません。里のように土壤の湿り気が多いところでよく見られます。

葉の上のできた霜の美しい模様や、霜柱を踏んだ時の感触を楽しんでみて下さい。



こんな寒い季節、いきものはこんな方法で寒さをしのいでいます



以前、老朽化した橋を修理するため横木を外したところ、その下に甲虫（オサムシの仲間？）とカナヘビがいたことがありました。

昆虫や変温動物は、このように温度変化の少ない土や木の中、石の下などに潜り込んで冬眠します。

冬眠中は代謝が大幅に低下し、エネルギー消費を最小限に抑えます。これにより、体内のエネルギーを節約します。



甲虫



カナヘビ

小草池などでは、魚類やカメなどが、水中の深いところに潜んで冬を越します。たとえ水面が凍っていても深いところはあまり温度が変化しません。肺呼吸のカメですが、体温が下がると代謝が低下するので、あまり呼吸しなくても水面下に長くいられます。

草原では、一見枯れた草ばかりのように見えますが、よく見ると地面に張り付いて、放射状に葉を広げた植物が見られます。これは、植物の冬越しの方法で、このように葉を広げた状態を「ロゼット」と言います。



タンポポ



スイバ



ナガミ



クオニタビラコ

ロゼットとは、バラの花の意味で、形が似ていることから名が付けました。地面に張り付くことにより、風の当たりが少なく、太陽で暖められた地表の熱を受けやすくなります。また、太陽の光を葉の全面で受け、冬の間には光合成で得たエネルギーを蓄え、春には新たに芽を出すものより先に成長できて有利です。

こんないきものの冬越しの様子を観察してみましよう。

1月はこんな生きものも見られます



里では、前回ご紹介したもののほかにも、ナンテンや、ヤブコウジなどの赤い木の実や、ヤブランや、ヒサカキなどの黒い実などが見られます。

ナンテンは、小草池の道の私有地側に多くあります。ヤブコウジは低木なので、ショウジョウバカマの小径や万灯山で、足元を探してみてください。ヤブランは、長円寺の境内に斑入りのものなどもあります。ヒサカキは雌雄異株で、実は雌株につきます。

しかし、春への準備も始まっていて、ヒサカキの雄株や、中央広場のマンサクの花芽がほころびかけているのを見つけることもあります。



11月号で少し触れましたが、小草池では、耐震工事前ほどではありませんが、カモ類などの水鳥が越冬にきています。他にも全身が黒くて、額からくちばしにかけてが白い、オオバンの姿も見られます。

また、田んぼなどで「だるまさんが転んだ」のように数歩歩いた後、ピタッととまるような仕草をするツグミや、木の枝などで、お辞儀のようにピョコンと頭を下げる仕草をする、翼の白い紋が目立つジョウビタキなどの陸の冬鳥も見つけることができます。

野鳥は敏感で、人の姿を見かけると離れて行ってしまいます。驚かさないうそっと近づき、双眼鏡等を利用して観察して下さい。

寒さが厳しい時期ですが、こんないきものを探して、里を散策してみませんか。

12月の行事紹介



「自然の素材でクリスマスリースを作ろう」の講座を12月1日(日)、最高の天気のもとで開催しました。

里山にリース作りの材料集めのために散策、子どもたちは、色々な木の実やモグラ塚を見たり、カエルを捕まえたりでき、ワクワク、興奮していました。

採取してきた木の実や用意された材料で、ゴージャスにリースが作れて、参加者は大満足の講座になりました。

1月の行事予定

12日(日)	お花炭を焼こう	20名	AM 9:30~11:30	判治和征
--------	---------	-----	---------------	------

内容：花炭は「飾り炭」ともいい、木の実や葉などの形をそのまま残して炭にしたものです。里山で採集した木の実などを空き缶に敷詰めて焼き、焼き上がった花炭は、竹の器に飾ります。

26日(日)	里山で野鳥を観察しよう	20名	AM 9:30~11:30	高田俊洋
--------	-------------	-----	---------------	------

内容：冬の里山で野鳥を観察します。北から渡ってきたカモの仲間を中心に里で冬を過ごす小鳥にも注目したいと思います。しっかりと防寒対策をしてお越しください。

2月の行事予定

※2回以上受講した方には、「竹炭」をプレゼントします。

8日(土)	竹炭を作って飾ろうⅠ(竹切り他)	20名	AM 9:00~11:00	神本 晃 河野 俊治
9日(日)	竹炭を作って飾ろうⅡ(窯炊き)	20名	AM 9:00~11:00 (午後も参加可能)	
16日(日)	竹炭を作って飾ろうⅢ(窯出し)	20名	AM 9:00~11:00	

内容：1日目は、竹林の間引きを行いながら竹切りし、窯に入れる大きさに竹を割って、窯に詰めます。2日目は、窯に火を入れ、火を絶やさないように約7時間焼きます。3日目は、窯出しします。炭焼窯で、どんな竹炭ができるか楽しみです。

23日(日)	里山 俳キング	20名	AM 9:30~11:30	服部くらら
--------	---------	-----	---------------	-------

内容：里山は自然の宝庫。ゆっくり歩きながら足もとの生きものの息づかい、風の香り、せせらぎのささやきなどを五感で探しましょう。必ず俳句が生まれますよ。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が**4名以下**の場合は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候**により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課